

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 光薫福祉会	代表者	小林 正信	法人・ 事業所 の特徴	ご利用者の方が、住み慣れた地域で安心した生活が送れる様、一人一人の生活スタイルに合わせた「通い」・「訪問」・「宿泊」を柔軟に対応し、これからも自宅での生活が継続出来る様可能な限りの支援を行い、ご家族の介護負担や精神的な負担の軽減を考慮し、医療連携、地域の連携に努め、一日でも長く自宅で一緒に生活出来る様支援させていただきます。
事業所名	ビハラー豆田	管理者	濱野 京子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	4人	0人	1	1人	0人	2人	0人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評の確認	課題として職員間でリスクマネジメントの統一が出来ていなかった為、入浴、排泄等のリスク予測を毎月確認し、全職員で周知する。	入浴、排泄、移動等の支援一覧表を作成し、会議に各内容の評価、変更等を全職員にて共有した。	事業所自己評価の改善策が抽象的な文言なので、目標達成度の評価が難しい。	改善計画は具体的に明記、又は数値化し評価しやすい内容にする。
B. 事業所のしつらえ・環境	玄関に草花を植え、事業所に訪問し易い工夫をする。垣根の剪定は適時行う。	玄関に草花を飾る事で、事業所に足を運び易い環境を整えた。また、利用者に草花の手入れを依頼し、管理して頂いている。垣根の剪定を行い、剪定期間の見直しを行った。	門扉より事業所玄関が分かりにくいので、玄関の案内板が有ればいい。	門扉から玄関までの間の所に、案内板を設置する。
C. 事業所と地域のかかわり	運営推進会議を通じて港町、丸の内町の自治会長、民生委員に草花の設置場所を尋ね、利用者と一緒にプランターに花を植付設置する。	利用者と一緒にプランターに花を植え、地域の公民館に設置。また、送迎時間を活用し水やりを行った。	門扉や玄関付近に「いつでもご相談下さい」と言った内容のポスター等を掲示するのは、どうでしょうか？ 今回の様に、公民館の前に草花があるといいです。	事業所広報誌に「介護の悩み等があれば、いつでもご相談下さい」と文面を入れる。広報誌は利用者と一緒に自治会長宅へ配る。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	利用者にオレンジカフェ（認知症カフェ）に参加して頂く。	コロナ感染にて中止になった日程以外は、4人の方にオレンジカフェに参加した。	オレンジカフェの参加月平均を、1名増加の目標にしてはどうでしょうか？	今年度は10名の方にオレンジカフェに参加して頂く。

E. 運営推進会議を活かした取り組み	地域の困りごとや心配な事案があれば、運営推進会議の中で協議する。	運営推進会議にて、地域で気になるケースの支援について協議した。	この会議に参加する事で、何処に相談に行けばいいのか、理解が出来た。 職員も運営推進会議に参加してはどうか？	運営推進会議に職員も参加し、一緒に協議、また参加との顔繋ぎをする。
F. 事業所の 防災・災害対策	災害時、小規模多機能の浴室を地域住民に開放し使用して頂く。	地域住民が浴室を使用する様な災害が無かった。	前回の改善計画を継続しても良いのでは？ 事業所の防災訓練に参加した事がない。	運営推進会議参加者に防災訓練の様子を見学して頂く。 港町、丸の内町住民に1階フロアを利用して頂く（小規模多機能が使用していない時間帯）